

一斉学習



挿絵や写真などの拡大・縮小や画面への書き込みなど、電子黒板を使って分かりやすく説明することで子どもたちの興味・関心を高めることができます。

個別学習



デジタル教材の活用により、一人一人の習熟の程度に応じた学習ができます。自分が疑問に思ったことを深く調べることも可能。学習履歴を把握することで、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することができます。

協働学習



タブレット端末や電子黒板を活用し、教室内の授業や他地域の学校との交流学习で子ども同士による意見交換、発表などが可能。お互いを高め合う学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することができます。

ICT教育で未来を生き抜く力を育む

—— 教育の現場から

日常生活で進んでいるICT(情報通信技術)。情報社会に対応する力を備えることはますます重要になっています。児童生徒の「未知の未来を生き抜く力」を育むために模索が続く教育現場。市で進むICT教育の現状と未来について紹介します。

【問い合わせ先】学校教育課 ☎0968(25)7230



菊池南中学校では昨年の11月にタブレットを整備。早速ドリル問題を解いていました



モデル授業を実施した菊之池小学校ではクラスメイト同士で教え合う姿も



平成30年度に隈府小学校で行われたプログラミング学習

全国的にも高い教育レベル

市では平成27年度までに児童生徒が使用するタブレット端末を小中学校に約800台整備し、学習支援ソフトの導入も進めるなど、県内の市では初めて国の基準を達成。先進的なICT教育の推進を図ってきました。普通教室への電子黒板などの導入も平成27年度に完了。調べ学習や意見発表の手段として活用が進んでいます。平成30年度にはソフトバンク㈱と連携協定を結び、人型ロボット「ペッパー」も導入。小学校でのプログラミング学習が始まっています。

(株)日経BPがインフラ整備と教員指導力の観点からまとめた公立学校情報化ランキング2020では、小学校で全国17位、中学校では19位と上位に位置し、教員のICT活用力の高さもうかがえます。市学校教育課の上田浩一郎指導主事は「機器を導入しただけでは授業改善は進みません。教職員研修を重ね、教師の皆さんと協力してきたことが質の高い教育につながっています」と話します。

求められる能力、変わる授業

学習指導要領の改訂も進められています。小学校の新学習指導要領では、育成を目指す資質・能力の柱として、次の3つが示されています。

- ①知識及び技能が習得されるようにすること
- ②思考力、判断力、表現力などを育成すること
- ③学びに向かう力、人間性などを涵養すること

この3つが偏りなく実現されるよう、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行うとともに、情報モラルを含めた、情報機器を活用する児童生徒自身の「情報活用能力」の育成が求められています。

市ではこれらの教育の実現に向け、国が進めるGIGAスクール構想に基づき本年度新たに1人1台のタブレット端末を整備。菊之池小学校では変わっていく授業の様子をイメージしやすいよう1月にモデル授業を実施。6年生がタブレットを活用した授業を体験しました。

ICT機器は「ツール」の一つ

授業は今後、大きく変化していきます。しかし、あくまでもICT機器は学力向上や学びの質の向上を支えるための「ツール」。児童生徒に基本的な活用方法を習得させながら、学校がこれまで培ってきた普遍的な指導技術とICT機器を効果的に掛け合わせ、教育の質の向上を図ります。

大切なことは自ら考え、行動する力を育むこと。本市では今後も、児童生徒の「未知の未来を生き抜く力」の育成に取り組んでいきます。



インタビュー



まつもと しげのり 教諭
(菊之池小)

子どもたちの笑顔が増えました

タブレットを使う授業は子どもたちが意欲的に学習に取り組んでいると感じています。紙と違い何度でもやり直しがきくので、とても効率的です。今後もさらに分かりやすい授業を目指します。



さわだ ひろみ さん
(菊之池小6年)

前より授業が楽しくなりました

授業が分かりやすくなりました。プリントがないので、書類を整理しやすく、調べながら授業を受けることができます。美容師になるのが夢なので、タブレットで動画を見て勉強したいです。

キーワード

ICT教育

パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法のこと。ICTは「Information and Communication Technology」の頭文字をとった言葉で、日本語では「情報通信技術」を意味します。

学習指導要領

どの地域でも一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省が学校教育法などに基づき、各学校で教育課程(カリキュラム)を編成する際に定めている基準のこと。小、中、高等学校ごとに教科の目標や教育内容を定めています。

GIGAスクール構想

1人1台端末と通信ネットワークを整備し、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育を全国の学校現場で持続的に実現させる構想です。